



榎山女学園 大学附属小学校森和久校長、在パオ日本国大使館柄澤彰特命全権大使にご挨拶をいただき、三ヶ国合わせて140名の子供たちがオンラインでの異文化交流を楽しんでくれました。

えを得て、実現することができました。ここに感謝を申し上げます。

在パオ日本国大使館 Facebook
12月15日火曜日、ミューンズ小学校とコロール小学校の児童

20名が日本の榎山女学園大学付属小学校と台湾の康橋国際学校林口校の小学生たちとのオンライン交流会に参加しました。交流会の目的は、お互いの文化についての理解を促進し、国際的な視野を広げることです。子供たちはそれぞれの学校生活、観光名所や文化等についてプレゼンテーションを行いました。



今回の活動は、早川理恵子博士、友好クラブの台湾桃園西門ロータリークラブと在パオ日本国大使館のお力添えで行った。前回は、日本の学校から生徒・学生が年に一度パオを訪れて文化や環境について学んだり、日本大使館を通じてパオの学生達を日本に派遣し、日本文化や生活を体験したりするプログラムもありましたが、旅行することが難しい今年度は、オンラインで子供たちの交流を行うことが増えています。

いつかお互いが住む場所を自由に行き来できるようになった時には、子供たちが直接会えることを願っています。

*Embassy of Japan in Palau
(在パオ日本国大使館) Facebook
ページ

旅行サークル活動報告
「奄美大島訪問」

旅行サークル 木村 光徳
新型コロナウイルスの第2波と3波のピークの谷間、11月の末に名古屋大須ロータリークラブメンバー7名にご家族1名、そして元メンバーの荒井さんを合わせた総勢9名で奄美大島を訪問しました。

奄美大島を目的地とした理由は同じ南の島でも沖縄に比べて圧倒的に訪問経験のあるメンバーが少ない事、そして何よりも我々大須ロータリーの例会にビジターとして10回近くも参加して頂いた事の有り、奄美ロータリークラブの福永健一さんに再会し、彼の経営



するお店で楽しく歓談が出来ればという事でした。しかし残念ながら福永さんには奥様を含めて少し体調を崩され、現在は鹿児島島の温泉場に引越され、湯治治療中の事でした。そんな状況の中でも我



々のスケジュールに合わせ、わざわざ奄美までお越し下さり、大島紬のお店や島唄が楽しめる居酒屋の案内、そして宿泊ホテルのオーナーで奄美商工会議所会頭、奄美ロータリーメンバーの有村修一さんを紹介して頂いたり、特産品の御土産まで用意して下さいたりとまさにオ・モ・テ・ナ・シの気持ちに全員が感謝、感謝。

観光についてはメンバーの趣味に合わせ、原生林トレッキング、マングロープ林のカヌー体験、ゴルフ等をオプションとし、一通りの観光スポットを巡り、夜は島唄の歌者として有名な西和美ママの居酒屋で蛇味線と島唄を解説入りで堪能し黒糖焼酎に酔いしれ、楽しい時間を過ごし、コロナのストレスを少しの間、和らげる時間になりました。

第7回入須なつフォトコンテスト
応募・撮影期間
令和2年12月1日(火)
令和3年2月10日(水)
*当日必着
*期間内に撮影されたもの

応募規定
・2Lサイズ以上の写真プリントに限りません。(モノクロ・カラーいずれも可)
・単写真のみ(組み写真は不可)
・期間内に大須界隈で撮影されたもの

応募方法
作品の裏面へ、タイトル、撮影年月日、お名前、ご住所、電話番号(携帯など)ご連絡可能なもの、生年月日、ご年齢、作者コメントを記入のうえ、名古屋大須RC事務局まで郵送にてお送りください。
主催
名古屋大須ロータリークラブ

歴史と庶民の町 大須
その魅力を深く切り撮る1枚を大募集
第7回 フォトコンテスト 大須なつ
12月1日(火) ~ 2月10日(水) 令和3年
※応募期間
※応募方法
※応募資格
※賞状
※入賞者発表
※お問い合わせ先
名古屋大須ロータリークラブ事務局
〒460-0088 名古屋市中区大須1-10-10 大須RCビル1001号室
TEL:052-733-1111 FAX:052-733-1112
E-MAIL:info@nagoya-rc.org
http://www.nagoya-rc.org

1月14日(木) 例会の案内
年男女年頭所見 照井 榮
山口 正孝・酒井 修
岡部 快園・吉田 憲一
母下 富博・大上 昇延
公共イメージ向上委員会
小澤 幸男・横川 誠人
住田 正夫・山口 正孝
*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。